

人事異動報告

所属	職名	氏名	異動年月日	異動事項	備考
原子核	助教授	上坂 友洋	H17.6.16	昇任	講師から
化学	講師	佐藤 守俊	H17.6.16	昇任	助手から
生科	一般職員	沢田 友香	H17.6.20	辞職	育休代員
生化	拠点特任研究員	前田 郁麻	H17.6.30	辞職	
地惑	拠点特任研究員	後藤 和久	H17.6.30	辞職	
地惑	学術研究支援員	掛川 法重	H17.6.30	任期満了	
事務	用度係主任	森山 博樹	H17.6.30	辞職	(独) 国立オリンピック記念青少年総合センター会計課契約係長へ
物理	助手	板垣 直之	H17.7.1	研修出向	～ H18.12.31
物理	学術研究支援員	荒岡 史人	H17.7.1	採用	
化学	拠点特任研究員	Kelly Kevin Lance	H17.7.1	採用	
生化	学術研究支援員	前田 郁麻	H17.7.1	採用	
事務	共同利用係	村石 昌昭	H17.7.1	休暇更新	～ H17.9.30
物理	講師	岩崎 昌子	H17.7.4	育児休業	～ H18.3.31
生科	産学官連携研究員	Rajib Kumar Paul	H17.7.15	辞職	
生科	一般職員	面来 真理	H17.7.16	採用	育休代員
物理	学術研究支援員	清水 則孝	H17.7.31	辞職	
生科	助手	川上 厚志	H17.7.31	辞職	東京工業大学助教授へ
物理	教授	福山 寛	H17.8.1	昇任	助教授から
物理	助手	清水 則孝	H17.8.1	採用	
物理	一般職員	山口 淳一	H17.8.1	退職	～ H18.1.31
事務	施設係主任	新井 寛	H17.8.1	復職	
化学	助手	田代 昇平	H17.8.16	採用	

東京大学大学院理学系研究科・博士学位取得者一覧 (2017年6月, 7月)

(※) は原著が英文 (その和訳した題名を掲載)。

平成 17 年 6 月 20 日付学位授与者 (2 名)

種別	専攻	申請者名	論文題目
論文博士	地惑	宮澤 泰正	渦活動による黒潮流路変動とその予測可能性 (※)
課程博士	生化	清水 史子	ニワトリ松果体の概日時計細胞におけるカルシウム情報伝達分子と転写制御機構 (※)

平成 17 年 6 月 30 日付学位授与者 (1 名)

種別	専攻	申請者名	論文題目
課程博士	生化	板東 高功	新規膜タンパク質 NLRR4 (Neuronal leucine-rich repeat4) による永続的長期記憶形成メカニズムの解析

平成 17 年 7 月 25 日付学位授与者 (2 名)

種別	専攻	申請者名	論文題目
論文博士	地惑	柳本 裕	日本の油ガス田貯留岩中のローモンタイトの起源およびその二次孔隙生成との関係 (※)
課程博士	地惑	岡 光夫	準垂直衝撃波における非熱的粒子の観測的研究 (※)

平成 17 年 7 月 29 日付学位授与者 (2 名)

種別	専攻	申請者名	論文題目
課程博士	物理	安藤真一郎	銀河内及び宇宙論的超新星のニュートリノによる探査 (※)
課程博士	物理	森 英之	銀河系バルジにおける低質量 X 線連星系の空間分布と光度関数 (※)

第 8 回理学部公開講演会のお知らせ

理学部では、理学研究の興味深いトピックを研究者自身が分かりやすく解説する公開講演会を、半年に一度開催しています。第 8 回目を迎えるこの講演会、今回は 11 月 11 日（金）に本郷の安田講堂で開催されます。

今回のテーマは「**意外と身近な理学研究**」。理学研究の中でも、日常生活に直結する地球温暖化とその予測、私たちの生命を支えている化学反応を超高時間分解能の分光で直接探る試み、そして我々自身を探る人類学、の 3 つのトピックを用意してお待ちしています。とかく『難しい、わかりにくい、堅苦しい』と思われがちな理学系の研究ですが、その懐は実に深く、興味をそそる話題が満載です。お誘いあわせのうえ是非お越し下さい。

【日時】 2005 年 11 月 11 日（金）18:00～20:30（17:00 開場）

【会場】 本郷キャンパス・安田講堂

【参加費】 無料（当日先着 500 名）

詳細は理学部ホームページの『イベント情報』（<http://www.s.u-tokyo.ac.jp/event/event.html>）に掲載されますので、そちらもご覧ください。

あとがき

本号トピックスで紹介されているとおり、本年度もオープンキャンパスが盛大に開催されました。将来、科学者を志したきっかけとしてこのオープンキャンパスを挙げてくれる若者が多く現れることを期待したいと思います。法人化した本学にとって、次代を担う若者への広報・啓蒙活動は、その重要性をさらに増しています。それにともない、中学・高校生に研究を紹介する機会も増大し、その形態もオープンキャンパスから散発的な研究室見学まで多様化しています。いずれにしても、ネットで多くの情報が得られる中、せっかく現地に足を運んでもらうわけですから、研究活動の現場でしか味わえない楽しさを伝えたいところです。そのためには、できればパネルやスライドによる説明だけではなく、実験デモンストレーションなどで「知」が生み出される現場の雰囲気を体験してもらえれば望ましいと思います。しかし、一方でそ

のような企画は準備や実施に時間と労力を要し、散発的に行うのは難しい面があります。どのような広報体制をとれば、より多くの人に、より充実した見学を行ってもらえるか、皆様のご意見をお聞かせいただければ幸いです。特に、見学希望に対応して下さった研究室の方には、今後の広報活動の改善のために、ぜひフィードバックをお寄せくださるようお願いいたします。ところで、中高生を相手に説明していると、こちらが思いもよらないところで彼らの目が輝くことがよくあります。日頃同業者ばかりと話しているうちに、自分の感覚が摩耗しているを感じる瞬間です。同様に、一般向けの解説文を書くときにも、自分の思考回路がどれくらい専門にとらわれているか測りかね、表現に悩みます。そういった悩みをかかえたときにより参考になるような、「理学系研究科・理学部ニュース」の紙面づくりに努めたいと考えています。

後藤 敬（化学専攻 助教授）

第 37 巻 3 号

発行日：2005 年 9 月 20 日

発行：東京大学大学院理学系研究科・理学部

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

e-mail: kouhou@adm.s.u-tokyo.ac.jp

編集：理学系研究科広報委員会

牧島 一夫（物理学専攻）maxima@phys.s.u-tokyo.ac.jp

横山 央明（地球惑星科学専攻）yokoyama.t@eps.s.u-tokyo.ac.jp

真行寺千佳子（生物科学専攻）chikako@biol.s.u-tokyo.ac.jp

後藤 敬（化学専攻）goto@chem.s.u-tokyo.ac.jp

渡辺 正昭（庶務係）mwatanabe@adm.s.u-tokyo.ac.jp

加藤 千恵（庶務係）c-kato@adm.s.u-tokyo.ac.jp

HP 担当：

名取 伸（ネットワーク）natori@adm.s.u-tokyo.ac.jp

HP & ページデザイン：

田中 一敏（ネットワーク）kazutoshi@adm.s.u-tokyo.ac.jp

印刷・・・三鈴印刷株式会社